科目区分:外国語科目(ドイツ語)

授業科目名 ド		ドイツ語・	ドイツ語・					曜日	校時
英語	名	German •							
担教官	当名	目正勝	単位数	1 単位	必修選択	必修	前期後期	金曜日金曜日	2 校時 2 校時
		授業	のねら	٠ ١١ ٠	内容	・方法			

前期は、文法の基礎を確認する意味で、15章からなる短文集を読み、また練習問題ととりくむ。後期は、バルト3国のひとつ、エストニアの海岸を舞台にしたヴェルナー・ベルゲングリュ ンの短編「海の悪魔」(1935年)を読んでゆく。前者は平易なドイツ語で書かれたものばかりなので、結果として多くのドイツ語文を読むことになり、多読の楽しさを味わうことができる。後者はドイツ語自体は少しむずかしところもあるが、奇談の趣もあり、興味深く読むことができるだろう。どちらも、テキストに付いている詳しい説明を参照するなら、自分で辞書をひきながらどんどん読んでゆくことができる。

教室では和訳を発表してもらい、それを検討することが中心になる。 作文練習の外、テープを聞いて単語の発音や文章の朗読の練習もおこなう。

テキスト、教材等

テキストは2冊使用する。 『ドイツ語ユーモア小品集(中級読本)』

菊池悦朗 編 第三書房

『改訂新版 海の悪魔』

丸山 匠 他編 行人社

対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法	教 官 研 究 室
2 P 1 8	定期試験(約90%) および平素の学習成業への参加状況等(約10%)を考慮して評価	

授 業 計 画

のテキストは一回の授業で1~2課進む。前もって4・5人の人に和訳を割り当てておくので、その人はよく調べて来なければならない。 の方は、一回に1頁~1頁半ずつ進む。折にふれていくつかの文法事項に焦点をあてる。

文法や単語に関連した練習問題、作文などを途中に差し挟んで、テキストの理解を深めるようにする。

前期

第一回~第五回 1~6 課

前置詞、分離動詞など

第六回~第十回 7~11 課

再帰動詞、接続法第二式など

第十一回~第十五回 12~15 課

受動態、接続法第一式など

後期

第一回~第五回 『海の悪魔』1~8頁

代名詞の特殊用法など

第六回~第十回 9~16頁

関係代名詞など

十一回~第十五回 17頁~

話法の助動詞など